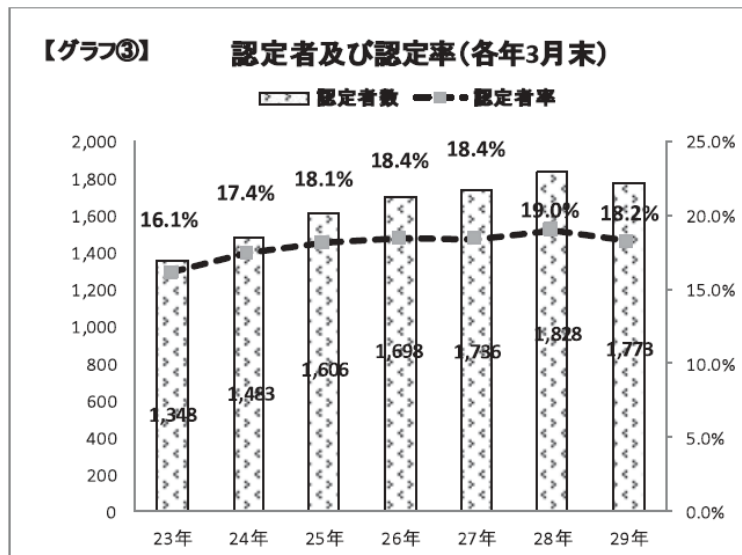


# 地域の現状

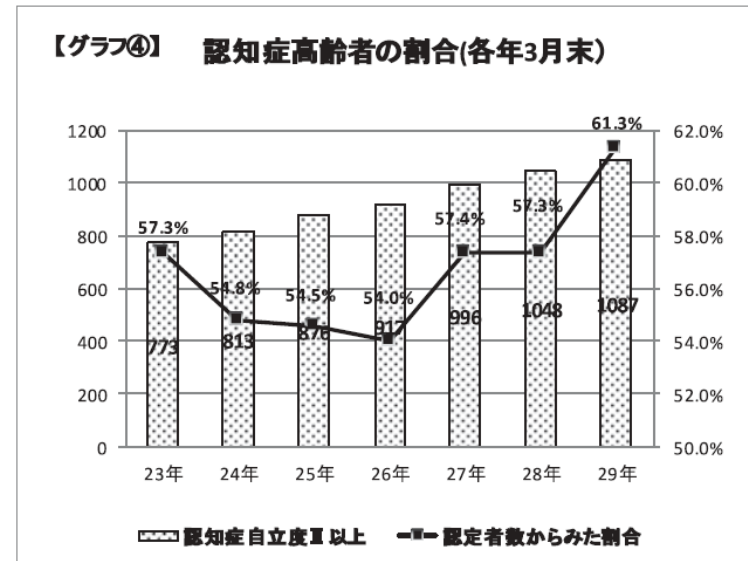
## 宮竹学区(駿河区大里高松圏域)

- ◆高齢化率は市全体の平均よりも低い  
(市平均30.3%:宮竹学区18.9% ※R2. 9. 30現在)
- ◆介護保険認定者及び認定率は緩やかに上昇  
※グラフは駿河区大里高松圏域(中田、大里東、南部学区を含む)の数値

認定者数の推移



認知症高齢者数の推移



# 地域の現状

## 地域の高齢者の困りごと

(関係者への聞き取り結果)

生活上の困りごとを抱える一人暮らしの高齢者の相談が増えている(ゴミ出し、蛍光灯の取り換え等)

【管轄の地域包括支援センター】

高齢者から「寂しい」「居場所がない」という声を聴く

【民生委員さん】

一人暮らしの高齢者や高齢夫婦のお宅を訪問しているが家族と同居でも寂しさを抱えていたり、家族に遠慮して声を上げられない高齢者もいるのではないかと

【民生委員さん】

# 地域の現状

体が衰えると外出や  
他者との交流が少なくなる

高齢者といっても状況は様々  
どうやって声を拾い、  
地域と高齢者をつないでいくか

# 既存の対策

## S型デイサービス※

【地区社会福祉協議会】

「ほっとひといき宮竹」

【S型デイサービスの流れ】



始めに受付で血圧測定を  
行い体調を確認します

体操やレクリエーション  
で体と心をほくします

みんなでおいしく昼食  
をいただき終了です

出典:静岡市ホームページ

※集会所や公民館など地域の身近な場所で地域住民のボランティアにより行われる在宅の高齢者を対象としたサロン活動

## 高齢者サロン 居場所づくり

【主に地域住民有志】

「高松公園カフェ」

「ふれあい宮竹会」

「ふれあいサロン汐入」

「高いち三水クラブ」等



出典:「駿河区地域の居場所づくり スタートガイドブック」

## サークル

【主に地域住民有志】

「寿会」

# どうすべきか

キーワードは「自立支援」

- ・ヘルパーとして普段意識していること

住み慣れた地域・環境で

- ・地域住民とのつながりを維持し「寂しさ」を払拭



(理想の姿)

できる限り地域コミュニティとつながり  
最低限の支援で、地域で交流し続けられること

# 何ができるか

- ・現時点で自治会や町内会等、  
地域の方々とのつながりが無い
- ・ヘルパーとしての知識、経験

まずは

地域のS型デイサービス等の  
運営に参加し  
できることを！

# 何ができるか

## 地域のS型デイサービス等で…

- ・楽しむための場から、生きがいをつくる場へ

利用者も積極的に  
運営に関われる方法を提案  
➡自立支援に繋がる

- ・今現在は支援等の必要がない方に対しても

介護予防や介護・支援サービスに  
関する必要な知識の提供

しかし・・・

新型コロナウイルス感染症の影響で  
S型デイサービス等の活動が  
完全にストップ

再開でき次第、地域のS型  
デイサービス等のお手伝い  
から始めます！